「もうどう犬さされてけが、いたみがまんしてしなず」の記事をよんで

大島小学校、三年、倉川朝晃

ぼくはお母さんにすごくがんばった犬の記事があるよ、しいわれた。ぼくは犬が大すきだからどきどきしながらその記事いっしょによんだ。

それは、もうどう犬の記事だった。目のふ自由な人がえきで、もうどう犬と歩いているし、だれかにもうどう犬をさされた。でもそのもうどう犬、オスカーは、ほえなかったので、ないぬしはきづかなかったというきじだった。

ぼくはこの記事を読んで、すごくおこった。オスカーがかわいそうだった。オスカーはいたくて、びっくりしたし思う。でも、がまんしてなかなかった。きゅうにほえると、目のふ自由なかいぬしがびっくりして、ころんだりしてしまうかもしれないから。

ぼくならがまんできずにないてしまうだろう。

オスカーはとても強くてやさしい。はんにんはんや犬をいじめる弱虫だ。

ぼくはこのきじを読んで、弱いものいじめはしたくないと思った。体のふ自由な人や動物たすける人になりたいと思った。

オスカーはやく元気になってね。がんばってね。ぼくにゆうきをおしえてくれてありがとう。

埼玉県で7月、全盲の男性が連れていた盲導犬が電車内か駅周辺で何者かに刺されけがをしていたことが27日、県警などへの取材で分かった。訓練された盲導犬のため刺されても鳴き声を我慢したとみられ、犯行場所は未特定。インターネット上で「許せない」との声が相次ぎ、県警は器物損壊容疑で捜査している。

武南署や男性の関係者によると、事件は7月28日に起きた。午前11時ごろ、さいたま市の男性(61)が職場に向かうためラブラドルレトリバー「オスカー」(雄9歳)を連れて自宅を出発、JR浦和駅から電車に乗り東川口駅で下車した。

盲導犬刺されけが 痛み我慢し鳴かず

電車内か 埼玉県警捜査

職場に到着後、同僚がオスカーのけがに気付いた。先端が鋭くとがったもので腰の辺りを2、3カ所刺されていた。手当てを受けて回復し、現在は元気に男性と生活している。盲導犬はパートナーに危険を伝える際などを除き無駄な声を上げないよう訓練されており、オスカーは痛みをこらえほえなかったとみられる。身に着けていた犬用のシャツに穴はなく、犯人は意図的にシャツをめくり上げて刺した疑いが強いという。